

**Works University**

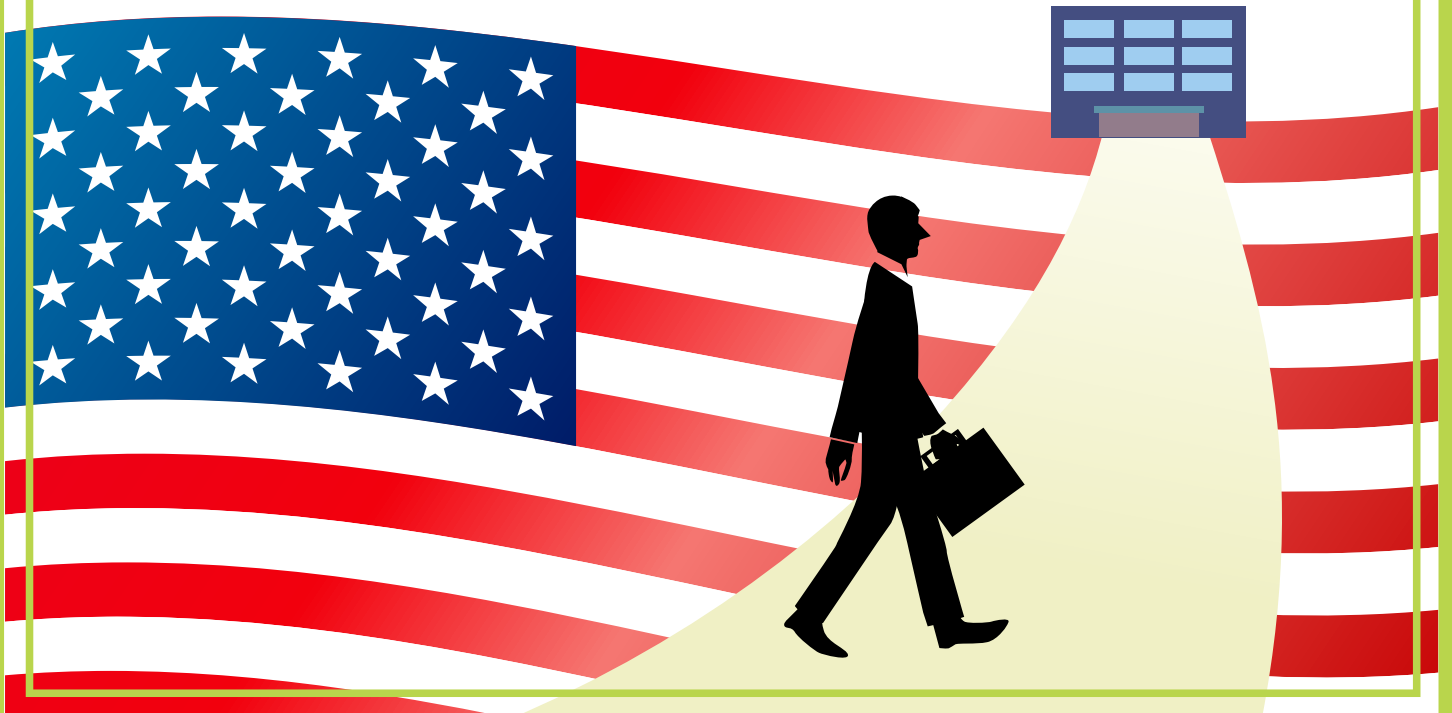
# 米国の 人材ビジネス

HR Business Overview in the US



# 13

入職経路・採用経路



## 入職経路

Bureau of Labor Statistics（米労働省労働統計局）は、1967年から毎月約5万世帯を対象に実施している Current Population Survey のなかで、失業者の求職手段に関するデータを収集している。「過去4週間以内に何らかの就職活動を行ったか？」という質問に対し「はい」と答えた回答者に、さらにその活動内容を下記の13の求職手段のなかから複数回答で選択させている<sup>1</sup>。

### 【積極的手段】

- 雇用主に直接問い合わせた  
（直接訪問、電話、または手紙で雇用主に接触した。軍への入隊希望者の採用事務所への問い合わせも含む。誰とも話をせずに応募用紙を入手しただけの場合は含まない）
- 履歴書を送付／応募用紙に記入した  
（履歴書や手紙という形で自分自身に関する情報を送付した、あるいは応募用紙を記入・提出した。応募用紙を入手しただけの場合は除く）
- 求職の広告を出稿した／求人広告に応募した  
（新聞などの求人広告に応募した、あるいは求職の広告を出稿した。雇用主または雇用主の代理人にコンタクトして初めて求人広告に応募したとみなされる。広告を読むことは積極的な求職活動には分類されない）
- 友人や親戚に問い合わせた
- 公共職業安定所  
（連邦政府、州政府、地方自治体が運営する公共職業安定所に求人情報について問い合わせた。公共職業安定所は通常、State Employment ServiceあるいはJob Serviceと呼ばれている）
- 民間の職業紹介会社  
（民間のリクルーティング会社またはヘッドハンティング会社と呼ばれる職業紹介機関を含む）
- 大学や学校の就職課に問い合わせた
- 労働組合や専門職登録団体（看護師や代替教員などが登録する組合運営の団体）に問い合わせた
- その他積極的活動

1 "Current Population Survey Interviewing Manual", U.S. Census Bureau, June 2013

## 【消極的手段】

- 求人広告を見た  
(求人広告を読んだ、あるいは広告に印をつけたのみ。求人企業に問い合わせることはしなかった)
- 職業訓練プログラムまたはコースに参加した  
(職業に関する知識やスキルを習得する目的で、民間または政府主催の訓練に参加した。「タイピングの講習に通っている」「よりよい仕事に就くため大学に通っている」など)
- その他消極的活動
- 何もしていない

行動を起こさなくても内定につながり得る求職活動の場合（人材派遣会社に登録した、監督やプロデューサーによるオーディションを受けた、契約獲得のために入札した、など）は、「その他積極的活動」に分類される。

行動を起こさないと内定につながらない活動（宅建の試験勉強をした、応募書類を入手した、履歴書を作成した、など）は、「その他消極的活動」に分類される。

調査に回答した週末までの4週間以内に積極的求職活動を1つ以上行った者のみが失業者にカウントされる。消極的な活動のみを回答に挙げた場合、その人物は求職活動をしているとはみなされないため、調査結果には含まれていない。

2017年の調査結果をみると、最も多かった積極的求職手段は「履歴書を送付／応募用紙に記入した」(56.3%)だった。次いで、「雇用主に直接問い合わせた」(51.3%)、「友人や親戚に問い合わせた」(25.2%)、「公共職業安定所」(15.3%)、「求職の広告を出稿した／求人広告に応募した」(14.4%)、「民間の職業紹介会社」(8.4%)と続く(図表1)。

図表1 失業者の年齢層別積極的求職手段 2017年(複数回答)

属性	失業者数(千人)		下記の求職手段を利用した求職者の割合(%)							利用した求職手段の平均種類数
	合計	求職者	雇用主に直接問い合わせた	履歴書を送付した／応募用紙に記入した	求職の広告を出稿した／求人広告に応募した	友人や親戚に問い合わせた	公共職業安定所	民間の職業紹介会社	その他	
16歳以上合計	6,982	6,027	51.3	56.3	14.4	25.2	15.3	8.4	13.9	1.9
16～19歳	827	781	49.1	60.4	10.1	18.7	5.9	3.5	9.7	1.6
20～24歳	1,127	1,031	53.9	57.7	13.9	22.3	14.2	6.3	12.5	1.8
25～34歳	1,647	1,432	52.0	57.7	14.3	23.8	15.9	8.7	13.6	1.9
35～44歳	1,143	961	50.8	57.0	15.1	27.1	18.8	10.2	14.6	1.9
45～54歳	1,060	889	51.8	53.9	17.4	31.0	18.5	11.2	15.8	2.0
55～64歳	835	673	50.5	52.5	15.9	30.0	18.5	11.3	16.6	2.0
65歳以上	343	259	46.1	46.1	13.2	25.3	11.0	6.6	17.0	1.7

注：求職者数は一時帰休者(temporary layoffs)を含まないため、失業者数の合計よりも少ない。求職手段の割合は複数回答可で多くの求職者が1種類以上を選択したため、合計は100%を超える

出所：Labor Force Statistics from the Current Population Survey, "Unemployed jobseekers by sex, age, race, Hispanic or Latino ethnicity, and active job search methods used", Bureau of Labor Statistics

<https://www.bls.gov/cps/cpsaat34.htm>

失業者の種類別にみても、最も多く利用されている求職手段は「履歴書を送付／応募用紙に記入した」で、次に「雇用主に直接問い合わせた」、「友人や親戚に問い合わせた」が続く（図表2）。

図表2 失業者の種類別積極的求職手段 2017年（複数回答）

失業理由	失業者数（千人）		下記の求職手段を利用した求職者の割合（%）							利用した求職手段の平均種類数
	合計	求職者	雇用主に直接問い合わせた	履歴書を送付した／応募用紙に記入した	求職の広告を出稿した／求人広告に応募した	友人や親戚に問い合わせた	公共職業安定所	民間の職業紹介会社	その他	
16歳以上合計	6,982	6,027	51.3	56.3	14.4	25.2	15.3	8.4	13.9	1.9
非自発的失業者および臨時雇用の就業期間が満了した者 <sup>a</sup>	3,434	2,479	52.8	56.1	16.3	29.5	20.8	11.0	14.9	2.0
自発的求職者	778	778	53.8	59.2	15.5	24.0	11.4	8.2	12.4	1.9
労働市場再参入者	2,079	2,079	48.8	55.5	12.5	22.2	12.4	6.6	14.0	1.7
労働市場新規参入者	690	690	50.7	56.1	11.7	20.4	8.3	4.8	11.6	1.6

a: Data on the number of jobseekers and the jobsearch methods used exclude persons on temporary layoff.

注：求職者数は一時帰休者（temporary layoffs）を含まないため、失業者数の合計よりも少ない。求職手段の割合は複数回答可で多くの求職者が1種類以上を選択したため、合計は100%を超える

出所：Labor Force Statistics from the Current Population Survey, “Unemployed jobseekers by sex, reason for unemployment, and active jobsearch methods used”, Bureau of Labor Statistics

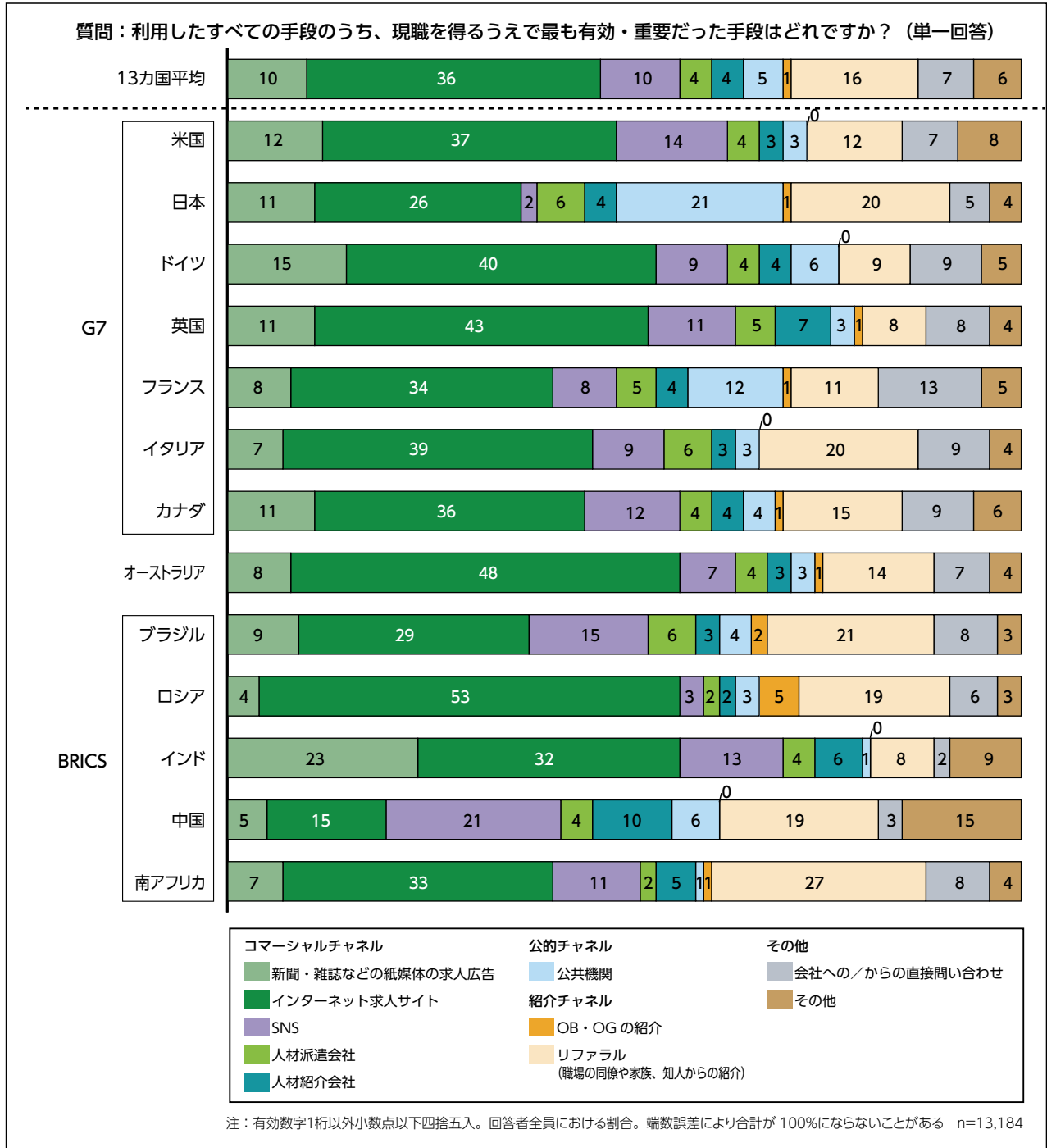
リクルートワークス研究所は、世界13カ国（G7、BRICS、オーストラリア）の入職者の求職行動（求職手段や入職経路等）の実態を解明するためにポストン コンサルティング グループと共同で約1万3,000人の就職者を対象とした国際比較調査「求職トレンド調査」を行っている。前年に新たな仕事を得た入職者に、以下のどの手段を使って職探しを行ったかを質問した。

- コマーシャルチャンネル 新聞・雑誌などの紙媒体の求人広告、インターネット求人サイト（履歴書サイト、ジョブフォーラム、ジョブ掲示板）、SNS、人材紹介会社、人材派遣会社
- 公的チャンネル 公的機関（ハローワークなど）
- 紹介チャンネル リファラル（職場の同僚や家族・知人からの紹介）、OB・OGの紹介
- 直接の問い合わせ 雇用主／雇用者への直接問い合わせ（会社への直接応募、従業員へのコンタクト、会社からの直接スカウト、等）

2017年度の調査では、米国において入職経路として使われているものとして、インターネット求人サイト（37%）、SNS（14%）、紙媒体の求人広告やリファラル（12%）が挙げられる。調査対象となるほかの国と比較してもほぼ同じ傾向が見られるが、13カ国平均と比べSNSの利用割合が高いことが特徴的である。SNSは転職者にとって仕事を探すツールとして一般的になりつつあり、米国の利用割合は中国、ブラジルに次いで3番目に高い水準となっている（図表3）。

図表3 国別の入職経路（最も有効な求職手段）

（単位：％）

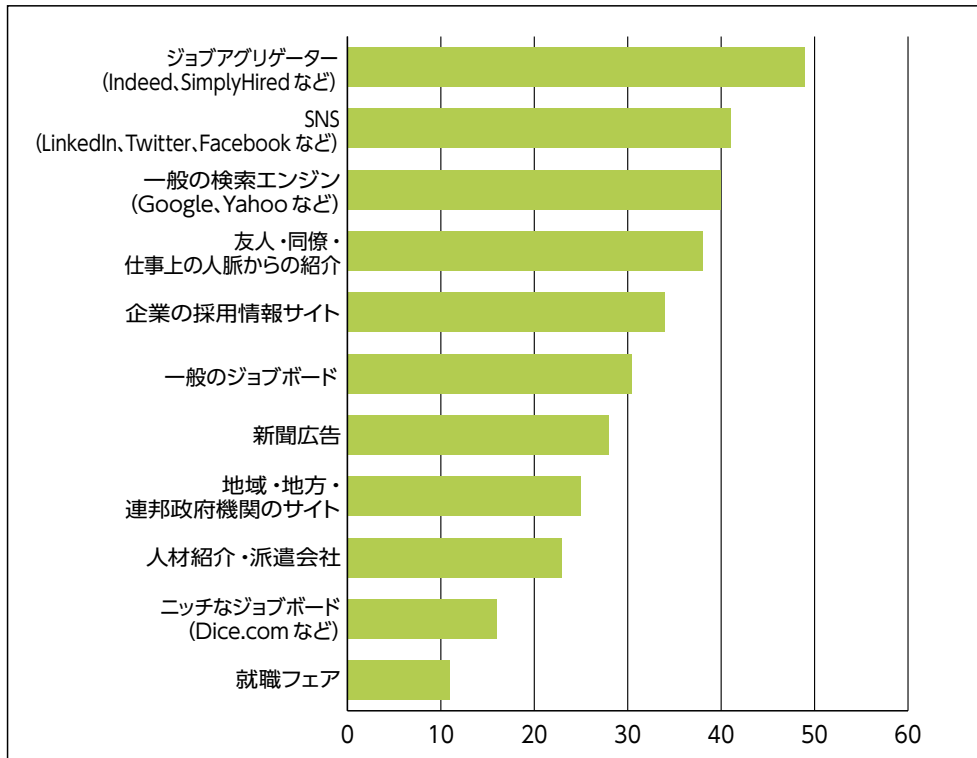


出所：「求職トレンド調査2017」リクルートワークス研究所 [http://www.works-i.com/pdf/171226\\_jst2017.pdf](http://www.works-i.com/pdf/171226_jst2017.pdf)

Madgex と Job Board Doctor が 3 カ国（米国、英国、ドイツ）で行った「2016 年世界の求職者調査（2016 Global Job Seeker Survey）」によると、求職方法で最も多く利用されているのはジョブアグリゲーター（49%）だった。次いで、SNS（41%）、一般の検索エンジン（40%）、友人・同僚・仕事上の人脈からの紹介（38%）、企業の採用情報サイト、一般のジョブボードと続く（図表 4）。

図表 4 通常利用する求職手段（米国）

（単位：％）



出所：“2016 Global Job Seeker Survey”, Madgex-Job Board Doctor

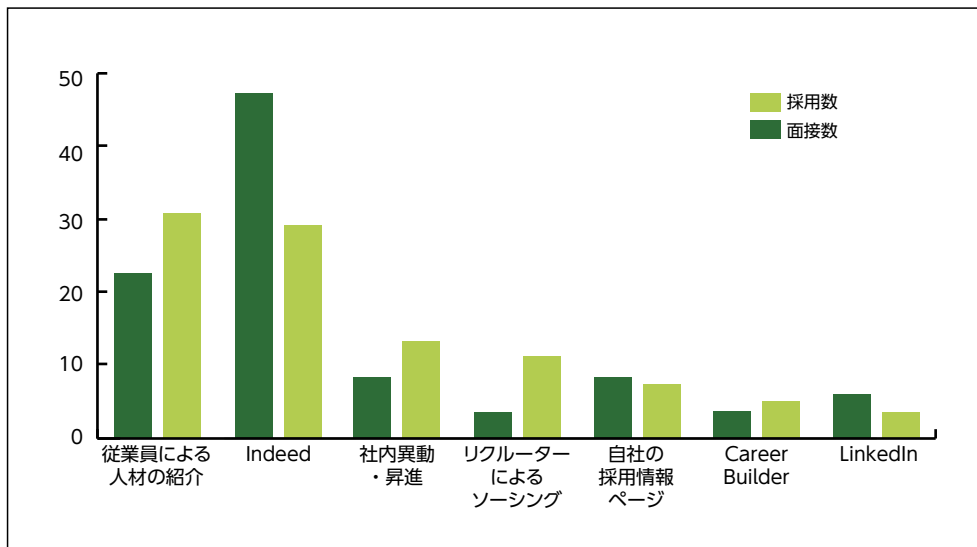
## 採用経路

人事管理ソフトウェアおよびサービスを提供する米 SilkRoad が毎年実施している採用経路調査の 2017 年の最新データによると、採用数が最も多かった経路は、従業員による人材の紹介で、全体の約 30% を占める。後に Indeed、社内異動・昇進、リクルーターによるソーシング、自社の採用情報ページ、CareerBuilder、LinkedIn と続く (図表 5)。

この調査は、同社の応募者追跡システム「SilkRoad Recruiting」を利用する顧客企業約 1,000 社以上 (従業員数 100 人規模～大手企業) の 2016 年の採用実績 (求人応募数合計 1,400 万件、面接数 65 万 5,000 件、採用数 32 万 9,000 件) から成るデータをもとに分析された。

図表 5 面接数および採用数に占める採用経路トップ7

(単位：%)

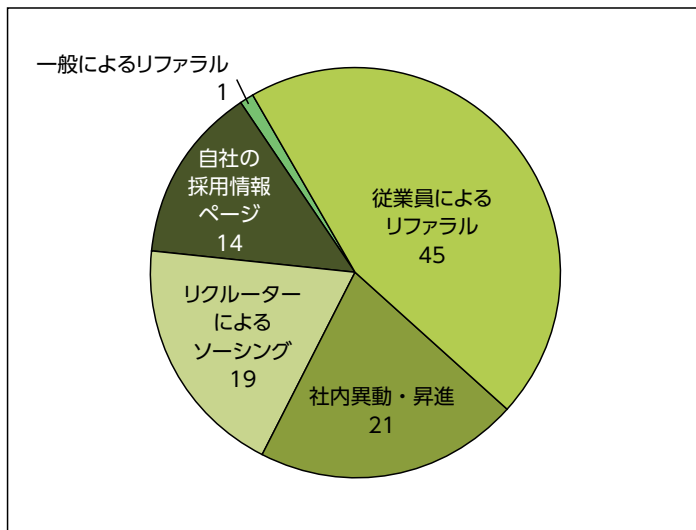


出所：“Sources of Hire 2017: Where the Candidate Journey Begins”, SilkRoad

社内経路 (リファラル、自社サイトの採用情報ページ、社内異動・昇進、リクルーターによるソーシング、元従業員の再雇用、飛び込みなど) のなかで最も採用数が多いのは従業員によるリファラル (45%) で、次いで社内異動・昇進 (21%)、リクルーターによるソーシング (19%)、自社の採用情報ページ (14%)、一般によるリファラル (1%) となった (図表 6)。

図表 6 採用数に占める社内経路の割合

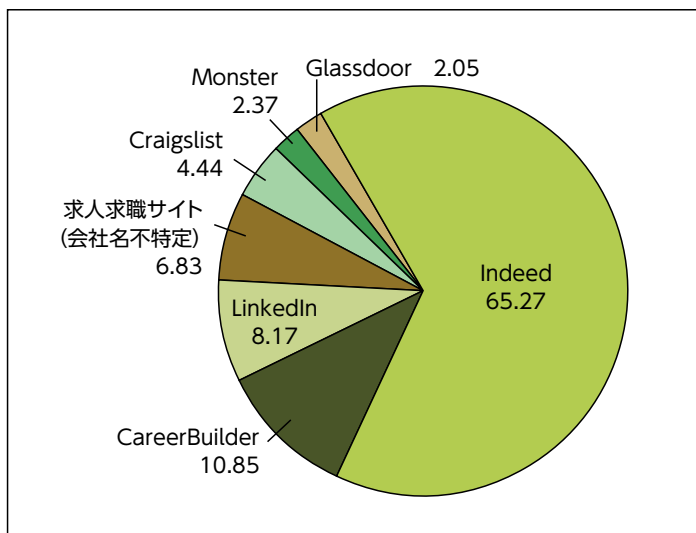
(単位：%)



出所：“Sources of Hire 2017：Where the Candidate Journey Begins”，SilkRoad

インターネット求人媒体のなかで最も採用数が多かったのは Indeed (65.27%) で、次いで CareerBuilder (10.85%)、LinkedIn (8.17%)、求人求職サイト (会社名不特定、6.83%)、Craigslist (4.44%)、Monster (2.37%)、Glassdoor (2.05%) となった (図表 7)。

図表 7 採用数に占めるインターネット求人媒体の割合 (単位：%)



出所：“Sources of Hire 2017：Where the Candidate Journey Begins”，SilkRoad



**Works University**  
**米国の人材ビジネス**  
**13.入職経路・採用経路**

---

**執筆**

杉田万起（リクルートワークス研究所）

**監修**

村田弘美（リクルートワークス研究所）

**発行日**

2018年3月28日

**発行**

リクルートワークス研究所 グローバルセンター  
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17  
リクルートGINZA8ビル  
株式会社リクルートホールディングス  
TEL 03-6835-9200  
URL [www.works-i.com/](http://www.works-i.com/)

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。  
©Recruit Holdings Co.,Ltd. All rights reserved.

---

参考資料等に掲載しているURLは各ウェブサイトへリンクしております。  
ただし、ページの移動もしくは閉鎖している場合がございます。

## 米国の人材ビジネス

### 13. 入職経路・採用経路

#### リクルートワークス研究所

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル

株式会社リクルートホールディングス

TEL 03-6835-9200

URL [www.works-i.com/](http://www.works-i.com/)